

# 索引

## ア行の部

應 問	五〇、六九、七九、一一三
アルゴル(變光星)	五九
變光星アルゴルの軌道	五八
アルゴルの軌道に就て	一〇一
アンヴェルス天文學會	一〇
アンドロメダ星雲ノ距離	一九
印度ノ天文學(天文學の曙光)	二四
埃及ノ天文學(天文學の曙光)	六六
エンケ彗星	九、一九
エンケ彗星に關する疑問	三七
エンケ彗星の再現?	六八

## カ行の部

カーネギー學會天文臺	二九
海王星の外に一惑星の存在せる如し	一一一
高山觀測	二二
高山の天象觀測	四五
輝ける夜の空	六八
カルデアの天文學(天文學の曙光)	二五
希臘の天文學	一〇九
火 星	一九
火星に山なき理由	一九
火星に水蒸氣存在す	二八
火星に生物存在するか	二八
火星は生物の住所に適す	二八

## 観 測

變光星觀測法	三〇
高山の天象觀測	四五
緯度變化の觀測法	七四
緯度變化觀測の結果	九三
觀測所	七八
東宮殿下臨時緯度觀測所行啓	七八
計算法	四
各地の日月出入時刻計算法	四
紅 燄	六八
太陽の大紅燄	六八
恒 星	八、一九五
恒星の距離問題	一一一
恒星スペクトルの第六分類	一四
恒星時(時の話)	三七
恒星時と平均時との比較	一四
恒星日(時の話)	三七
黒 點	三、一三
太陽黒點に就て	三、一三
こよみ(曆を見よ)	三、一三

## サ行の部

日月出入時刻	四
各地の日月出入時刻計算法	四
支那の天文學(天文學の曙光)	七
新 星	二九
ヘルセウス座新二新星	二九
眞太陽時(時の話)	一四
彗 星	一四
エンケ彗星、エンケ彗星を見よ	一四

## ハリ彗星(ハリ彗星を見よ)

木星挾の彗星	五三
新彗星の出現	七八
新彗星の軌道	七八
モリアハウス彗星(モリアハウス彗星を見よ)	七八
彗星と流星群との關係	一一五
水星經過	九
スペクトル	九
スペースに於ける光の分散	二九
惑星スペクトル	一一二
恒星スペクトルの第六分類	一一二
星 雲	一
アンドロメダ星雲の距離	一
星學科	五〇
理科大學星學科卒業者	五〇
星辰の密度	五〇
地球上に於ける星辰の密度	五八
星 團	一〇一
牡牛座に於ける星團の收歛運動	一〇一
プレヤデス(昴宿)	一〇三
節氣に就て	六一
余山天文臺	九

## タ行の部

太陽	三、一三
太陽の黒點に就て	三、一三
太陽の大紅燄	六八
太陽系の衛星と其發見	五八
地球上に於ける星辰の密度	五八
天 象	四、五
高山の天象觀測	四、五
輝ける夜の空	六八

## 天 圖

黃道光の北の極限	一一二
天圖の說明	一一二
四月の天(恒星時十時の天象)	一一二
五月の天(恒星時十二時の天象)	二〇
六月の天(恒星時十四時の天象)	三三
七月の天(恒星時十六時の天象)	四〇
八月の天(恒星時十八時の天象)	五二
九月の天(恒星時二十時の天象)	六〇
十月の天(恒星時二十二時の天象)	七二
十一月の天(恒星時〇時の天象)	八〇
十二月の天(恒星時二時の天象)	九二
一月の天(恒星時四時の天象)	一〇二
二月の天(恒星時六時の天象)	一一四
三月の天(恒星時八時の天象)	一二二

## 天文學

天文學の曙光	六、二四、六六
希臘の天文學	一〇九
天文學會	二
日本天文學會々則及役員名	一〇
アンヴェルス天文學會	一〇
日本天文學會發起人會	一〇
日本天文學會定會記事	八八
天文學者	八
天文臺及天文學者要覽	八
昨年中に物故せる天文學者	八
ヤング教授の訃	八
獨國ホツダム天文臺長故フオーゲ先生傳	二六
水原準三郎君を弔す	四七
(附同君の公示せる論文目錄)	四八
噓水原準三郎氏	四八
天文學談話會記事	一〇、三〇、
天文臺	三九、五〇、七九、九一、一〇一、一一一

天文臺及天文學者要覽 八

カーネギー學會天文臺 二九

高山の天文臺(高山の天象觀測) 四五

天文臺の近狀 六九

余山天文臺 九九

時 各地の日月出入時刻計算法 四

時の話 一四三五

日本全國にて使用する時 八三

土星 土星の環 九

土星の新環 一九

土星の環 六三

昨年中に於ける土星の環の現象 六三

ナ行の部

日食 本年一月三日の皆既日食 三八

明治四十四年四月二十八日の皆既日食 三二

二十八宿(應問) 七九

日本の天文学(天文学の曙光) 七

ハ行の部

昴宿 プレヤデス(昴宿) 一〇三

報時 東京報時 八四

地方報時 八四

標時球報時法 二九

はしき星(彗星を見よ) 一

發刊の辭 一

ハリ彗星 一六、二三

ハリ彗星の光度 五八

光の分散 スペースに於ける光の分散 二九

日時計 秦時代の日晷儀 七三

標時球報時法 一一九

プレヤデス(昴宿) 一〇三

平均時、平均太陽時 一五、三五

平均太陽時(時の話) 一五、三五

恒星時と平均時との比較(時の話) 三七

ベルセウス座第二新星 二九

變光星 昨年(ミラ)星の極大光度 二九

變光星觀測法 三〇

天琴座β星(變光星) 三九

ケフェス座δ星(變光星) 三九

鷲座η星(變光星) 三九

ヘルクレス座α星(變光星) 五一

カシオペア座α星(變光星) 五一

ペガスス座β星(變光星) 五一

アルゴル(アルゴルを見よ) 五一

鯨座ο星(ミラー)(變光星) 五九

牡牛座入星(變光星) 七一

オリオン座α星(變光星) 七一

雙子座ζ星(變光星) 七一

取著座ε星(變光星) 九一

牡牛座に於ける星團の收斂運動 一〇一

北極地方の氣象學研究 九

北極星と天の北極 一〇五

ミラ(變光星) 五九

昨年(ミラ)星の極大光度 二九

マ行の部

モーアハウス彗星 八八、一一二、一一一

新彗星の出現 七八

新彗星の軌道 七八

木星 木星の衛星 一九、三三

木星の新衛星か 二九

木星の第八衛星 三八

木星族の彗星 五三

ラ行の部

流星 流星と空氣 二一

五月二十一日の大流星 四九

大流星 七九、一一三

彗星と流星群との關係 一一五

流星雲 一八

曆 節氣に就て 六一

明治四十二年曆に就て 七七

曆面に於ける千支の研究 八六

隆熙三年日用便覽を讀む 一一一

黄道光の北の極限 一一三

ワ行の部

惑星 惑星の位置及経路 一〇

惑星だより 二〇、三二、四〇、五二、

六〇、七二、八〇、九二、一〇二、一一四、

一一二、 一一二

惑星スペクトル 一一二

海王星の外に二惑星の存在せる如し 一一二

木星(木星を見よ) 一一二

火星(火星を見よ) 一一二

緯度變化 緯度變化に就て 四一

明治四十年中の緯度變化 五〇

緯度變化の觀測法 七四

緯度變化觀測の結果 九三

衛星 木星の衛星 一九、三三

木星の新衛星か 二九

木星の第八衛星 三八

太陽系の衛星と其發見 五八

